

学校教育目標 未来を創る

めざす児童像

他者とともに 自分らしく生きる 鬼高っ子

①思いやりの心を持って ②人間性豊かに ③たくましく ④かがやく未来へ

信頼される学校～笑顔があふれる学校～

- ・保護者、地域と共に子どもを育てる学校
- ・個に応じた支援をすすめる学校
- ・わかりやすく情報発信する学校
- ・特色ある教育活動をすすめる学校
- ・安全安心な教育環境を整える学校

学校の特色

5つのかぎ



あいさついっぱい
 スポーツいっぱい
 読書いっぱい
 歌いっぱい
 花いっぱい

めざす教職員像～信頼される教職員～

- ・児童理解に努め、多様性を尊重する教職員
- ・人権意識を持って、児童を大切にする教職員
- ・保護者、地域と連携・協働する教職員
- ・向上心を持って学び続け、新たな教育を創り出す教職員

確かな学力

- ① 探究的な学びの推進
- ② 言語能力の育成
 - ・読書活動の充実
 - ・図書館資料活用の推進
- ③ ICT 利活用の推進
- ④ 「わかる授業」づくり
ユニバーサルデザインの授業改善
- ⑤ 体験・交流活動の充実
- ⑥ 教科担任制の推進
- ⑦ 保護者・地域と連携した学びの推進

豊かな心

- ① 学級経営の充実
 - ・自他のよさを尊重し、互いに認め合う学級
 - ・自己存在感を感じる学級
 - ・学習規律と自主性を重視
- ② 多様な教育的ニーズへの対応
 - ・特別支援教育
 - ・不登校児童支援
 - ・相談窓口の充実
- ③ 担任交換で児童理解の深化
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ 思いやりの心・人権意識の育成

健やかな体

- ① 体力向上
 - ・体育授業の充実
 - ・運動機会の確保
- ② 基本的な生活習慣の確立
 - ・家庭との連携
- ③ 食育の推進
 - ・食を楽しむ、食に関する知識
 - ・アレルギー対応
- ④ 安全教育の推進
 - ・交通安全教育
 - ・防災教育、避難訓練の充実

知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性

～社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう3つの力をバランスよく育てる～

社会に開かれた教育課程の実現

より良い学校教育を通じてより良い社会を創るため、社会と連携・協働し未来の創り手を育てる

- コミュニティ・スクールの充実(学校運営協議会、地域学校協働本部との連携・協働)
- 学校評価・学校関係者評価・自己評価の結果を生かした学校経営改善
- 積極的な情報発信と学校公開による開かれた学校

Team 鬼高

子どもを全ての教職員で育てます！

□めざす教職員像

- ・児童理解に努め、多様性を尊重する教職員（子どもや保護者に寄り添って、一緒に考える）
- ・人権意識を持って、児童を大切に作る教職員（人権は大人と同じ）

※担任としての願いを「伝える」、子供や親の気持ちを「受け止める」、解決策を一緒に「考える」

□全ての教職員で育てる為の情報共有 ～職員間では全てオープン～

◇校長の校内参観

◇担任交換の推進

- ・学年内で定期的に（子どもや保護者も見通しを持てるように）

朝の会、帰りの会、清掃指導、給食指導、等、実施に向けた工夫を。

◇教科担任の推進……実施に向けた工夫を（2クラスで、道徳は通年で、単元で）

評価は担任（メモの交換）

◇生活規律、学習規律は、学年で統一する部分を明確にし、共通で指導する。

学年集会、Teams 合同学活、の積極活用

◇生活アンケート………4月末、6月頭、7月頭、9月末、10月末、11月末、1月末、2月末、

⇒学年会や職員会議で支援指導方針を共通理解

⇒担任の学級指導に生かす

□ひだまり学級の交流学習は全教職員で支える

□若年職員育成を全員で……初任2名、2年目5名、3年目3名、5年目1名

□一人で対応しない。初期対応には、人と時間をかける

◇この対応でよいか、知恵を出し合い、役割分担してすすめる

□心身ともに健康で

◇体調の悪いときは、休みましょう。

◇毎週水曜日は、『ノー残業デー』 **※17時30分施錠**

◇年休を取りましょう。 例えば、子供下校後、記念日、等

□あいさつの手本を示して ～あいさついっぱいのカギ～

◇子どもに会ったら、**まず、先生から先**にあいさつ ⇒ 自分からあいさつできる子へ

□給食は4月からグループで実施。インフル等の状況によって前向きとする

□マスクは状況に応じて

□今後3年間の学校訪問

R6:校長室訪問、R7:学校訪問、R8:課題別訪問

□R5度ブロック定例研会場校:第六中学校